

科目名	社会学入門					開講 キャンパス	神 埼
担当者	酒 井 出						
開講年次	1(心理) 1・2(リハビリ)	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選択必修
授業の概要 及びねらい	本講義では、現代社会の様々な具体的現象（家族、地域社会、企業等）にたいして社会学的に理解し、分析できるようになることを目標とする。						
授 業 の 到達目標	1) 現代社会の様々な具体的現象を社会学的に理解できる。 2) 現代社会の様々な具体的現象を社会学的に分析できる。 3) さまざまな社会現象の課題について自分の意見を述べることができる。 4) 具体的社会現象のメカニズムについて社会学の基本的概念を用いて自分なりに解釈しようとする意思を示す。 5) 具体的社会現象について自ら、デキスト以外の文献を調べてみようとする意思をしめす。 6) 身近な具体例を用いて、社会現象について主体的に考える。 7) 他人の意見を尊重し、具体的社会現象について議論が行える。 8) これまで社会学で学んだことの中から、自らテーマを選んでレポートが作成できるようになる。						
学習方法	講義、ディスカッション						
テキスト及び参考書等	「日本の社会学入門」 酒井俊二、酒井 出共著、久美株式会社						
評価基準・方法	到達目標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎			50		
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎				30		
授業態度			◎		10		
受講者の発表				◎	10		
授業への参加度							
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	社会学とは何か						
第 2 週	現代家族の捉え方（教科書 P. 95～97）						
第 3 週	「家」制度と伝統的日本の家族の捉え方（教科書 P. 97～101）						
第 4 週	現代家族の現状と課題（その 2）						
第 5 週	同族の家族間関係（教科書 P. 113～117）						
第 6 週	復習とまとめ						
第 7 週	日本の村落（教科書 P. 126～137）						
第 8 週	日本の村落とその変化（教科書 P. 126～137）						
第 9 週	復習とまとめ						
第 10 週	日本の都市（教科書 P. 152～159）						
第 11 週	日本の都市とその変化（教科書 P. 161～167）						
第 12 週	復習とまとめ						
第 13 週	日本の企業（教科書 P. 168～177）						
第 14 週	日本の企業の発展（教科書 P. 178～188）						
第 15 週	復習とまとめ						
第 16 週	まとめと試験						
備 考	事前学習：予習課題を前の週の講義時に配布するので課題をやってくる。 事後学習：予習課題を添削して返す。						